

鴻巣市地域公共交通計画

(調査編)

<追加調査版>

令和8年8月

鴻巣市

目 次

	頁
3. 事業者アンケート調査結果.....	35
①交通事業者アンケート調査.....	35
②関連事業者アンケート調査.....	40
③高校生アンケート調査	44

3. 事業者アンケート調査結果

①交通事業者アンケート調査

対象者	【鉄道事業者】 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 【路線バス事業者】 ・ 朝日自動車株式会社 ・ 川越観光自動車株式会社 ・ 東武バスウエスト株式会社 【コミュニティバス運行事業者】 ・ 朝日自動車株式会社 ・ ロイヤル交通株式会社 【一般タクシー事業者】 ・ 長谷川タクシー有限会社 ・ 東洋タクシー有限会社 ・ 有限会社遠忠屋運輸 ・ 熊通タクシー株式会社 ・ 熊谷構内タクシー株式会社 【このす乗合タクシー】 ・ 東洋タクシー有限会社 ・ 有限会社遠忠屋運輸 ・ 熊通タクシー株式会社 ・ 熊谷構内タクシー株式会社 【ひなちゃんタクシー】 ・ 長谷川タクシー有限会社 ・ 東洋タクシー有限会社 ・ 有限会社遠忠屋運輸 ・ 熊通タクシー株式会社 ・ 熊谷構内タクシー株式会社
主な調査項目	・ 利用者の特性や運行上の問題点 ・ 近年の利用動向 ・ 利用者から寄せられている声 ・ 経営上の問題点（利用者減少、燃料高騰等） ・ 運行上の問題点（人手不足、車両更新に向けた課題・意向） ・ 利用促進策や観光施策の取組み ・ 公共交通における市への提言、期待
調査方法	・ 郵送・メールによる配付、回収
調査期間	・ 令和8年5月8日～5月22日
回答社数	・ 10社

公共交通の担い手不足への対応と、社会情勢の変化に伴う運行の見直しが必要

事業者	内容
鉄道事業者	○近年の利用者層や利用動向の変化 ・コロナ禍において利用者数は減少傾向であったが、現状では、コロナ禍以前より 90%程度の利用までの回復にとどまっている。 ○鴻巣地域内を運行する JR 線についての運行上や経営上の問題点 ・経営環境の変化に柔軟に対応し、引き続き多くのお客さまにご利用いただけるよう取り組んでいくが、テレワークなど働き方改革の推進による新たな生活様式の定着、人口減少等もあり、鉄道をご利用のお客さまがコロナ禍前の水準に戻ることは厳しいと考えている。 ○利用促進や観光施策のために行っていること ・2025 年 9 月 6 日(土)には、鴻巣駅にて「第 2 回ノス祭り in 鴻巣駅」を開催し、さまざまなイベントを実施した。また、2025 年 9 月 20 日(土)には、「TAKASAKI Line Yell 110」としてキハ 110 系というレトロなディーゼル車両が高崎線高崎駅～宮原駅間を運行するイベントを実施した。今後の計画は未定だが、お客さまや地域の皆さまに高崎線をより身近に感じていただくための取組みを引き続き検討していく。なお、「駅からハイキング」については、2026 年 2 月 21 日(土)・22 日(日)および 2026 年 5 月 9 日(土)・10 日(日)に設定、開催しており、多くのお客さまに鉄道を利用しお越しいただいている。 ○鴻巣地域内の 3 駅について利用者等から寄せられている声 ・列車遅延に関する迅速な情報提供に関してなど、意見・要望をいただいている。 ○ほかの交通事業者との連携に関して求めたいこと、協力できること ・協力できることについては、個別での判断となるが、地域公共交通の活性化に向けて、可能な範囲で連携していきたい。

事業者	内容
路線バス事業者	○近年の利用者層や利用動向の変化 ・数年前と比べて外国人のお客様が増加している。 ・新型コロナウイルス以降利用者が戻ってこず、全体的に利用者が減ってきているが、特に学生の利用が減っている。 ・少子高齢化による免許取得者の減少に比例し、乗車客も減少 ・駅から駅への移動が多く、途中降車は少ない ・短大や専門学校の廃校による利用者数減少への懸念 ○運行上や経営上の問題点 ・乗務員の不足、利用者の減少 ・系統の距離が長いので本数に限りがある。 ・吉見町、鴻巣市からの乗客が僅少。 ・運転手の高齢化。人件費を見直したが、慢性的な運転手不足。 ・燃料費の高騰への不安。 ○現在の利用促進・観光施策や今後の計画 ・スマホ定期券、学生や高齢者を対象とした特殊定期券販売の継続 ・学生用定期券、共通学生フリーパス、70才以上の方用定期券、プレミアムパス 70 の発売を行っている。 ・今後については現段階では計画はないが、この状況が続けば、「輸送力の見直し（減回）」を検討しなければならない。 ・働く車の展示や乗り方教室など公共交通に慣れ親しむ機会を企画してほしい ○他の交通事業者との連携に関して求めたいこと、協力できること ・共通定期券の販売を実施している。 ○上尾道路の整備や道の駅こうのす開業を見据えたルート再編等構想 ・現段階では特に無いが、交通量や流れの変化、住宅建設等の動きがあれば、運行計画の見直しを検討する必要がある。 ・道の駅乗り入れのための幅員等の確保が必要 ○走行環境について ・鴻巣駅から東松山駅方面へ運行する際に逆川一丁目バス停を過ぎて 1 つ目信号を右折するが、右折レーンが無く狭いのと、信号に右折矢印表示を出していただきたい。 ・また、大型車や停止線を超えて停止している普通車がいた場合、右折が困難となるので停止線をあと 1 m 程度下げていただきたい。 ・国道 17 号の渋滞 ・駅周辺等バスレーン導入の検討 ・川の氾濫など災害時等のバスの避難所の確保 ○利用者等から寄せられている声 ・市内ではないが、市内での遅れを引きずり、川越市内の方より遅延の声が届いている。 ○デジタル技術の導入・導入予定について ・キャッシュレス：交通系 IC カード導入済み ・お客様向けバスロケーションシステム導入済み ・PASMO、Suica 以外のキャッシュレスは未導入 ○公共交通計画についての提言・期待、協働可能性 ・鴻巣駅西口は狭いことから、自家用車の送迎の滞留によりバス乗降スペースに停車し、バスが到着してもそのままという状態となっており、運行に支障をきたしている状況となっている。夜間、雨天時の状況悪化。これらに対する対策の検討。 ・現在の輸送力（便数）を維持するための収入が不足してくると想定した、他の自治体と同様に早急な助成金確保。 ・花火大会時の御成橋の渋滞の改善 ・デマンド交通など他交通機関とのすみ分け ・運行補填 ・バス事業者の合同企業説明会開催による人員確保 ○市営公共交通の継続運行について ・企業職員の送迎バスの受託はしているが、拡大の予定はない。

事業者	内容
コミュニティバス事業者	○近年の利用者層や利用動向の変化 ・80歳以上の高齢者等、運賃無料乗車者が増えた。 ・土日祝は大半が無料の方の利用となっている。 ・観光需要少ない ○運行上や経営上の問題点 ・職員不足 ・笠原コースはルート変更（以前は市役所経由）後利用者が減少した ・乗務員不足が深刻なため、早期の日・祝の運休を希望。 ・車両が高年式となってきた、修理費がかさんでいる。 ○改善の必要なコース・ダイヤ ・従業員の勤務時間短縮のため、常光コース、平日ダイヤ最終便 20:00（北本駅東口発）を 19:50 発にしてほしい。 ○走行環境について ・狭路 …三ヶ谷戸～川里支所間 樹木伐採…明用～コスモアリーナふきあげ間。北根三反地～北根新田間、赤見台中前～箕田公民館 植栽伐採…三ヶ谷戸～川里支所間 ・笠原コース県道 32 号線、安養寺～宮地にかけて 7 時-9 時、17 時-19 時の渋滞がひどい。上谷公園→鴻巣駅東口へ行く便が三谷橋にて県道へ合流しにくい。 ○利用者等から寄せられている声 ・平日、北根新田 6 時 58 分発鴻巣駅行きが恒常的に遅延するので次のダイヤ編成時に考慮して欲しい。 ・運行本数の増加だが、乗客数は少ない（特に笠原コース） ○デジタル技術の導入・導入予定について ・交通系 IC カード対応機器およびバスロケーションシステムの導入。今後導入を検討しているサービスは無し。 ・キャッシュレス化する場合の費用対効果が合わない ○公共交通計画についての提言・期待、協働可能性 ・日祝運休の早期実施。 ・働く車の展示や乗り方教室など公共交通に慣れ親しむ機会を企画してほしい ・道の駅乗り入れのための幅員等の確保が必要 ・バス事業者の合同企業説明会開催による人員確保 ○市営公共交通の継続運行について ・運賃収入（営業運転）が利用者に対して伸び悩んでいるため、料金の値上げ等改定が必要。
タクシー事業者	○近年の利用者層や利用動向の変化 ・配車アプリの注文が増加しており、電話注文を受けている間に空車を先に配車アプリに取られてしまうことがある。 ・災害時や鉄道が動かない時の利用が増える ○貴社で現在抱えている課題 ・運転手不足 ・特に夜間の人手不足 ・デマンド交通「ひなちゃんタクシー」受付開始直後に需要が集中し、一般タクシー配車に影響がある ○利用促進・利便性向上・経営改善などのために行っていること ・新規の配車アプリ Uber、車両入替時にハイブリッド車（JPNTAXI あるいはシエンタ車いす仕様）の導入等。 ・配車アプリの導入検討 ○「このす乗合タクシー」「デマンド交通ひなちゃんタクシー」が本運行されて以降の、貴社の一般タクシーの利用者層や動向の変化 ・病院やクリニック等医療機関への送迎が減少 ○新たな交通手段を導入した場合、事業に対してご協力いただける可能性 ・できる限り協力したい。 ・内容次第

事業者	内容
こうのす 乗合タクシー	○利用者等から寄せられている声 ・予約が取れないことが多い ○貴社で現在抱えている課題 ・運転手不足 ○現行システムについての改善点やご要望 ・高齢者の利用が多く、乗降時に時間を要する。時間的に余裕を持たせてほしい。 ・UI・UXの改善 ・停留所の見直し ・乗合したくない方が多い人数で予約し、直前で人数変更を行うことがある ○利用促進・利便性向上・経営改善などのために行ったほうが良いとおもうこと、アイデア ・現在8台体制だが、予約が取りづらい状況を勘案して1～2台増車してほしい。 ・小学生が乗り合わせの場合、乗車位置の判断のため何年生か教えてほしい。 ・乗合率を上げるためには共通乗降所の再検討を行うべき ○こうのす乗合タクシーの制度について、変更を検討すべき点 ・一人につき6件まで可能な予約数を減らし、他の利用者が予約を取りやすくする
ひなちゃん タクシー	○近年の利用者層や利用動向の変化 ・だいたいの方が利用回数の制限（月8回まで）を意識して利用しているようだ。 ・固定のお客が多い ・病院での利用が主 ○利用者等から寄せられている声 ・月8回の利用制限を増やすか無制限にしてほしい ・市外乗降場所の追加 ・新規登録の方が利用できていない ○貴社で現在抱えている課題 ・運転手不足 ○現行システムについての改善点やご要望 ・毎月の利用回数制限を超える人がいるので警告やペナルティの検討をしてほしい ・利用時のルールの厳格化が必要 ○利用促進・利便性向上・経営改善などのために行ったほうが良いとおもうこと、アイデア ・電話ではなくスマホで完結できるようにしたい（どこにタクシーがいるか含め） ○デマンド交通ひなちゃんタクシーの制度について、変更を検討すべき点 ・チケット制の導入または利用回数制限の撤廃 ・わかりやすい車両案内表記

②関連事業者アンケート調査

対象者	【商業施設】 ・株式会社エルミ鴻巣（エルミこうのすショッピングモール） ・ユニクス鴻巣 【医療施設】 ・北里大学メディカルセンター ・鴻北クリニック ・赤見台整形外科・内科クリニック ・医療法人 MSA エクセス 村越外科・胃腸科・肛門科 【その他関係団体】 ・鴻巣市教育委員会 ・鴻巣市観光協会 ・鴻巣市社会福祉協議会 ・鴻巣市商工会
主な調査項目	・利用者の特性や運行上の問題点 ・経営上の問題点（利用者減少、燃料高騰等） ・運行上の問題点（人手不足、車両更新に向けた課題・意向） ・利用促進策や観光施策の取組み ・路線バスやタクシーに関する意見・要望
調査方法	・郵送・メールによる配付・回収
調査期間	・令和8年5月8日～5月22日
回答数	・10社

移動制約者（通院需要等）や観光・商業等の需要への対応や
関係事業者の連携した交通体系の検討が必要

事業者	内容
商業施設	○施設利用者の特性 ・毎日の11時、17時の利用が多い。 ・公共交通機関を利用する利用者の割合は0.5割 ・土日・祝日の11～14時の利用が多い。 ○施設利用者への送迎サービス ・実施していない。 ○高齢者や妊娠中の方、お身体の不自由な方等の支援サービス ・実施していない。 ○買い物支援、移動販売サービス等 ・実施していない。
医療・クリニック	○患者の特性 ・平日の午前中（8:00-11:00頃）の利用が多い ・公共交通機関の利用は2割ほど。 ・平日は終日、休日は午前中の利用が多い。 ○施設利用者への送迎サービス ・実施していない ○高齢者や妊娠中の方、お身体の不自由な方等の支援サービス ・患者及びその家族等を対象に相談窓口を開設している。 ・ ○鴻巣市の公共交通について、意見・要望 ・バスの運行ルートを追加・変更してほしい。 ・高齢患者の増加に伴い、公共交通機関を利用して来院される方が多く、支援の重要性が高まっている ・「病院までの移動が大変」「公共交通の本数が少ない」「乗り継ぎが難しい」の声 ・緊急搬送後の外来通院や継続治療が必要になる患者も多く、免許返納後の移動手段の確保や家族の送迎負担の声もある ・診察時間に合わせた運行本数の増加、土日祝日の交通アクセスの維持 ・通院支援を目的とした地域交通サービスの整備

事業者	内容
鴻巣市教育委員会	○スクールバスの混乗について ・利用する児童数に応じて台数や運行コースを設定しているため、混乗難しい。 ○児童・生徒又はその保護者から公共交通や登下校に寄せられている声 ・監視カメラの設置や添乗員の配置など見守り体制の充実
鴻巣市観光協会	○鴻巣市内における観光客の来訪特性について ・平日：60代以上の中山道ウォーキング、小学生の社会科見学、午前中が多い ・土日祝：若い人から家族まで幅広い ・時期：2～3月 びっくりひな祭り、6月 小学生社会科見学 ○観光を取り巻く現状や昨今の社会情勢の影響からの問題点・課題 ・外国人の来訪が多くなっている ・日本語で説明を受ける人がいるため資料作りが課題 ○観光振興のために実施中（予定）の取組・イベントで、公共交通との連携・協力した取組や可能性について ・観光マップにて情報提供している ○来訪者や観光施設から公共交通に関して寄せられている声 ・フラワーバスが平日3本、休日5本と少ないので増やしてほしい。 ○鴻巣市の公共交通についてのご意見、ご要望 ・電車、バス、タクシーとあるが、駅から離れているので利便性を良くすれば利用者の増加につながると思う。
鴻巣市商工会	○商業を取り巻く現状や昨今の社会情勢からの問題点・課題 ・近年は物価高騰や人件費上昇、燃料費・電気料金の高止まりなどにより、地域事業者の経営環境は厳しさを増している。 ・特に小規模事業者では、仕入価格上昇分を販売価格へ十分転嫁できないケースも多く、収益確保が課題となっている。 ・高齢化や人口減少に伴い、地域内消費の縮小や後継者不足も深刻化している。 ・自家用車を利用できない高齢者にとっては、公共交通の利便性が買い物機会や外出機会に大きく影響しており、地域商業の維持にも関係していると考えられる。 ・郊外型大型店やネット通販との競争も強まっており、地域店舗への来店機会創出や回遊性向上が課題となっているのではないかと考えられる。 ○商業活性化のために実施中（予定）の取組・イベントで、公共交通との連携・協力した取組や可能性について ・商工会イベント開催時には、公共交通を活用した来場促進や回遊性向上の取り組みに可能性があると考えている。 →例えば、循環バスとの連携強化、公共交通利用者向け特典の実施、イベント開催時用デジタルマップや時刻表の周知、駅前やバス停周辺での利用案内などが考えられる。 ・高齢者や子育て世帯などで自家用車の利用が難しい方でも参加しやすい環境づくりのため、イベント時間帯に合わせた運行調整や本数の増加なども効果があると考ええる。 ○鴻巣市の公共交通についてのご意見、ご要望 ・公共交通は市民生活だけでなく、地域経済や商業振興にも大きく関わる重要な社会基盤であると考えている。 ・特に、高齢者が買い物や通院をしやすい移動環境整備、駅と地域商業エリアを結ぶ交通アクセスの向上、イベント開催時の臨時便や周遊性の向上など利用実態に応じた柔軟な運行形態の検討などを期待します。

事業者	内容
鴻巣市 社会福祉協議会	○高齢者や障がい者の方々などから公共交通について寄せられている声 ・松原地区の運転免許を返納した高齢者の方から、北本市にある診療所やスーパーを利用するときにこのす乗合タクシー等が使えるかとの話があった。 ・松原地区は隣接している北本市への外出傾向があり、北本駅と北里大学メディカルセンターのみとなっているため、使いにくい方もいる。 ・地域の方から、「北里大学メディカルセンターとか、行田総合病院なんかもフラワー号で行けたら便利なんだけどね。タクシーだと登録や予約があるけど、バスはバス停に行けば乗るだけでいいから、利用しやすいんだよね。」という声をききました。 ・手押し車を利用していると乗降の際が難しい。運転手の方に手伝ってもらえない。 ・スーパーに買い物に行くために、気軽に使えるようにしてほしい。 ・北鴻巣駅からコミュニティバス「フラワー号」で総合福祉センターに来ることが出来るようにしてほしい。 ・コミュニティバス「フラワー号」が時刻表どおりに来ない。現金による支払いだけでＩＣカードなどを利用した支払いができないことへの疑問の声がある。 ・このす乗合タクシーを利用しても、朝１０時くらいまでの時間帯は予約が取りづらく、利用しづらい。 ・自分で運転することができなくなったら、公共交通を利用しないと外出できないが、バス停は近くになく、タクシーが便利に使えるか等心配である。 ・お店がなく、日用品が近所で購入できない地域では、住み続けることが難しいと感じる。より身近に公共交通が必要で、時間帯も多くあってほしい。 ○公共交通と連携して取り組めること、連携すべきこと ・そもそもデマンドタクシーを知らない人が多い。予約の取り方が分からないという人の話も聞くので、さらに周知が必要と感じる。 ・車椅子で乗れる福祉車両を希望する方もいるため、公共交通で福祉車両が各社で何台あるかなどがホームページ等で分かると使いやすいと思う。 ○鴻巣市の公共交通についてのご意見、ご要望 ・このす乗合タクシー、デマンド交通「ひなちゃんタクシー」ともに利用料金の条件で７０歳以上という項目があるが、６５歳以上に引き下げてほしい。 ・コミュニティバス「フラワー号」の吹上・笠原コースの運行本数を増やしてほしい。 ・住宅街の中を通るようなバスルートがあるとうれしい。

③高校生アンケート調査

■調査概要

対象者	地域内の県立高等学校 3 校（埼玉県立鴻巣高等学校、埼玉県立鴻巣女子高等学校、埼玉県立吹上秋桜高等学校）の高校 1 年生						
主な調査項目	・通学時及び通学時以外（習い事や遊びなど）の交通手段 ・公共交通サービスに関する要望・意見						
調査方法	・学校での配付・回収						
調査期間	・令和 8 年 5 月 15 日～5 月 29 日						
回答数	・401 票						
内訳	属性	実数	割合	属性	実数	割合	
	性別	男性	127	31.7%	女性	261	65.1%
		その他/答えたくない	1	0.2%	無回答	12	3.0%
	高校	鴻巣高等学校	170	42.4%	鴻巣女子高等学校	112	27.9%
		吹上秋桜高等学校	119	29.7%			
	地域	鴻巣市	105	26.2%	熊谷市	33	8.2%
		北本市	33	8.2%	吉見町	47	11.7%
		その他	174	43.4%	無回答	9	2.2%

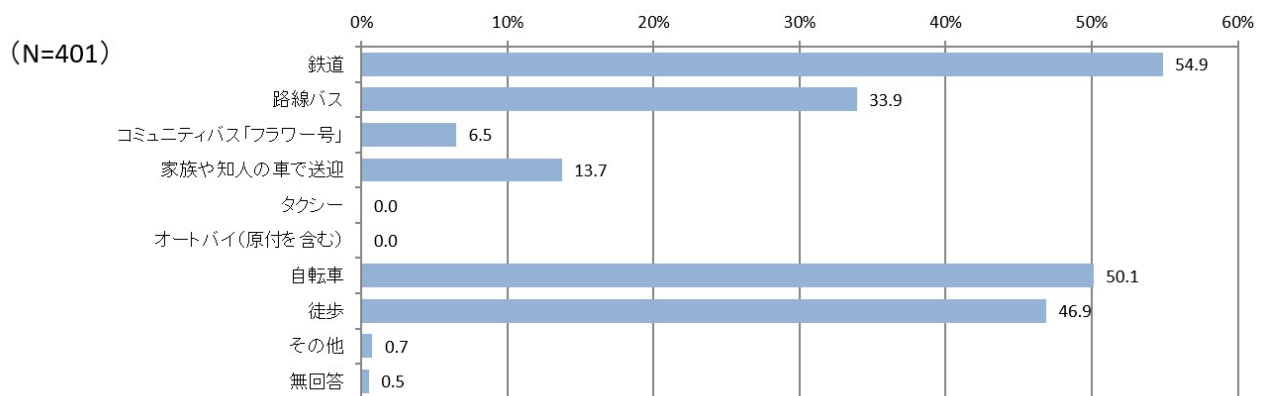
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値が100%とならない場合があります。

■調査概要まとめ

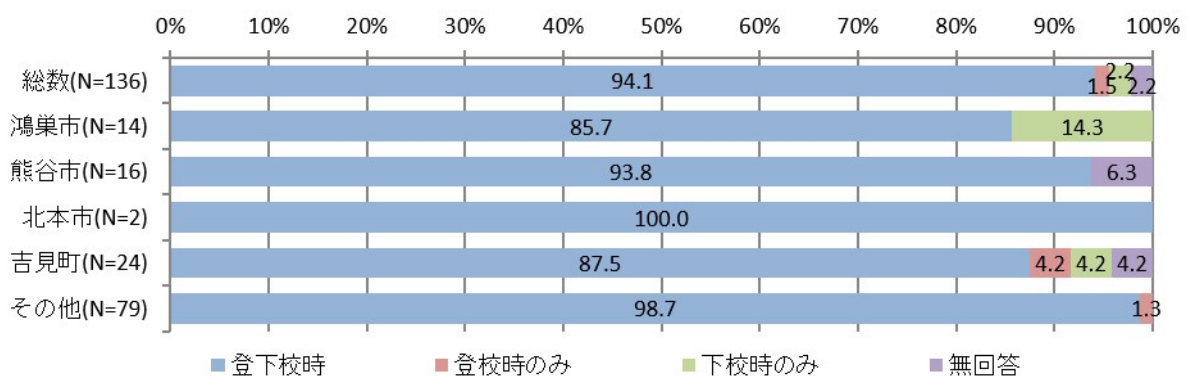
①通学時の交通手段について

- 普段の登下校時の交通手段について「鉄道」と回答した方が54.9%と最も高く、次いで「自転車」が50.1%、「徒歩」が46.9%となっている。「家族や知人の車で送迎」の回答も13.7%となっている。
- 路線バスの利用者の94.1%が「登下校時」に利用しており、通学時の往復利用が中心となっている。一方で、コミュニティバス「フラワー号」利用者は登下校時の利用が61.5%と高いものの「登校時のみ」の利用も26.9%と一定数みられる。
- 雨の日の登下校時の交通手段について「鉄道」と回答した方が56.1%と最も高く、次いで「徒歩」が50.1%、「家族や知人の車で送迎」が38.9%となっている。
- 雨の日の路線バスの利用者の88.7%が「登下校時」に利用が普段の登下校と同じく最も多く、通学時の往復利用が中心となっている。コミュニティバス「フラワー号」利用者についても登下校時の利用が65.2%と高いものの「登校時のみ」の利用も17.4%と一定数みられる。

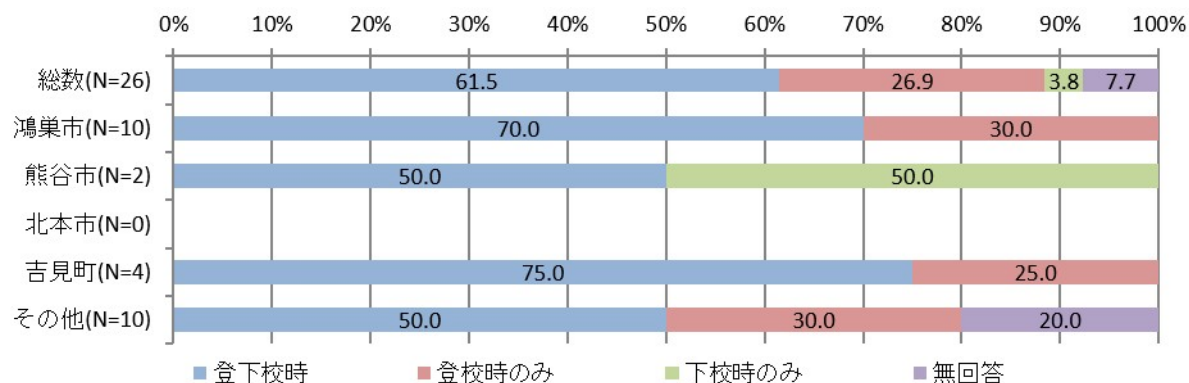
■普段の登下校時の交通手段について



■路線バスの利用時間（普段）

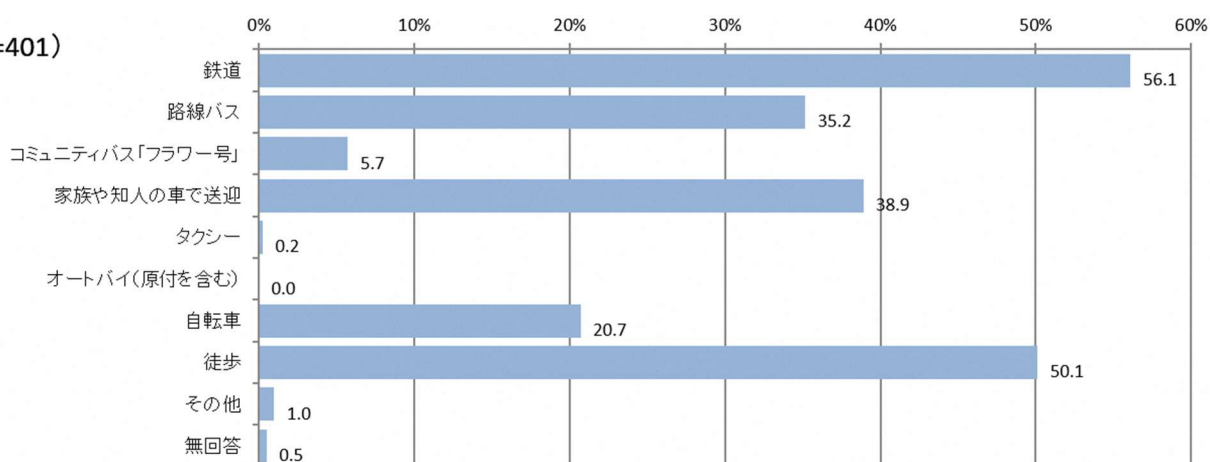


■コミュニティバスの利用時間（普段）

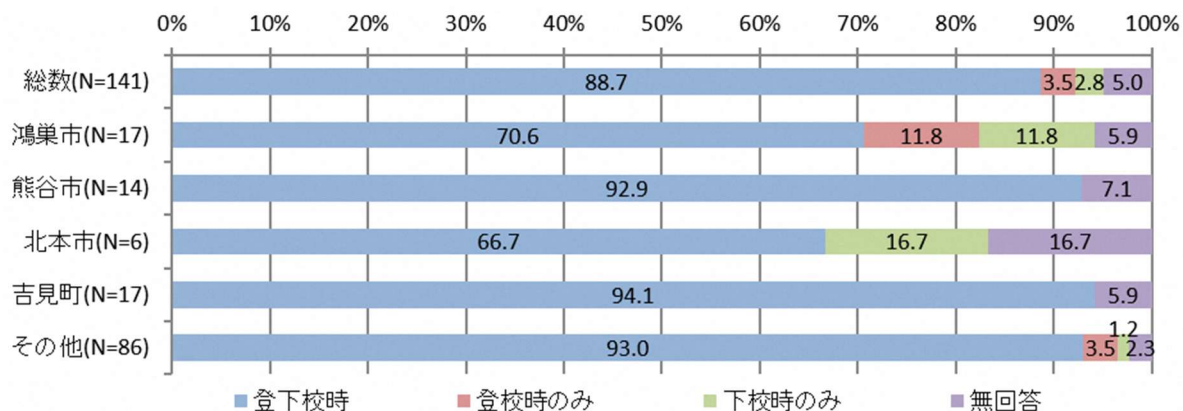


■雨の日の登下校時の交通手段について

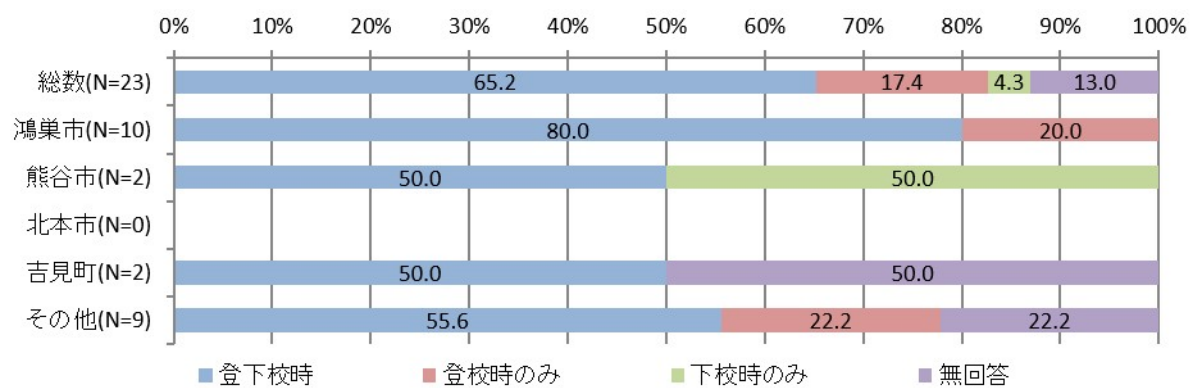
(N=401)



■路線バスの利用時間（雨の日）



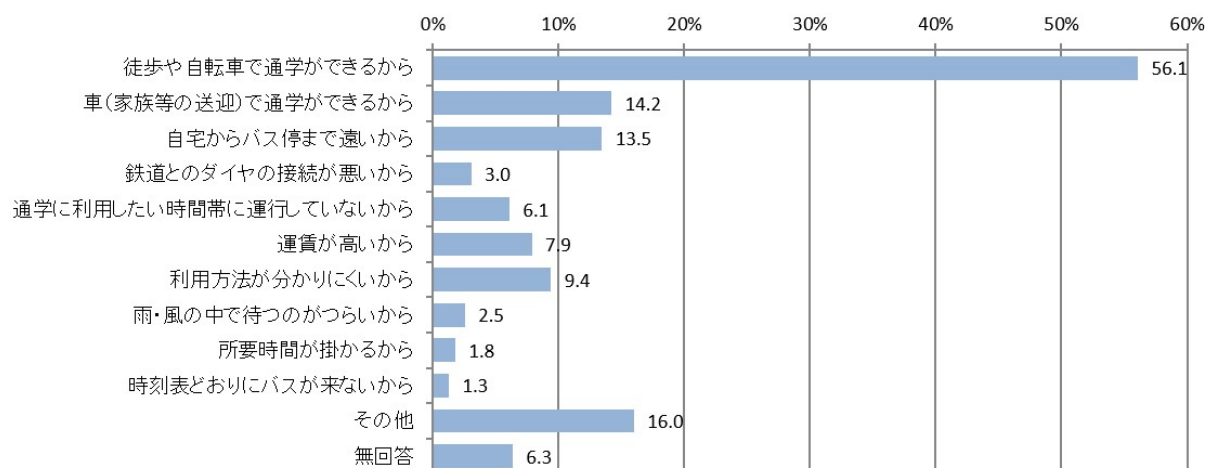
■コミュニティバスの利用時間（雨の日）



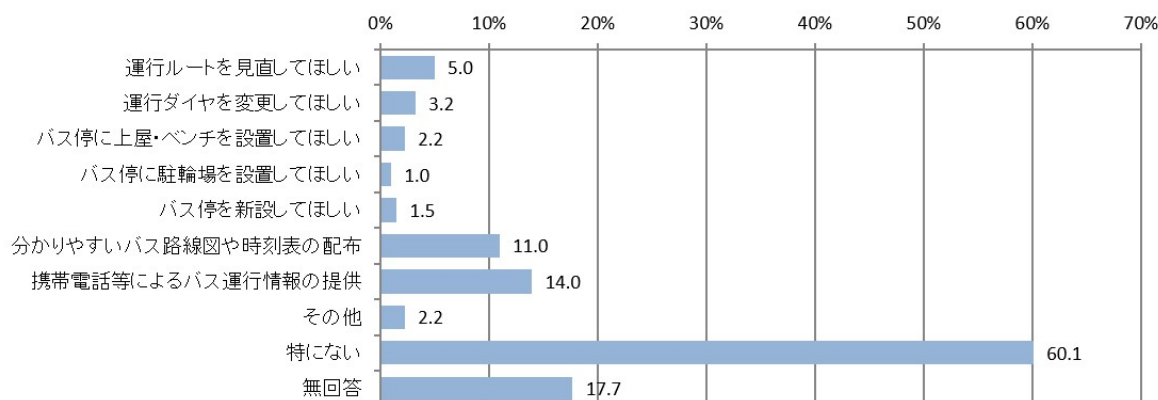
②通学時のコミュニティバス「フラワー号」の利用について

- 通学時にコミュニティバス「フラワー号」を利用しない理由は「徒歩や自転車で通学できるから」が56.1%と最も高く、次いで「車（家族等の送迎）で通学ができるから」、「自宅からバス停までが遠いから」となっており、家族送迎の負担も発生している。
- コミュニティバス「フラワー号」の改善意見については、「特にない」が最も多い一方で、「携帯電話等によるバス運行情報の提供」や「分かりやすいバス路線情報や時刻表の配布」の回答がある。

■通学にコミュニティバス「フラワー号」を利用しない理由



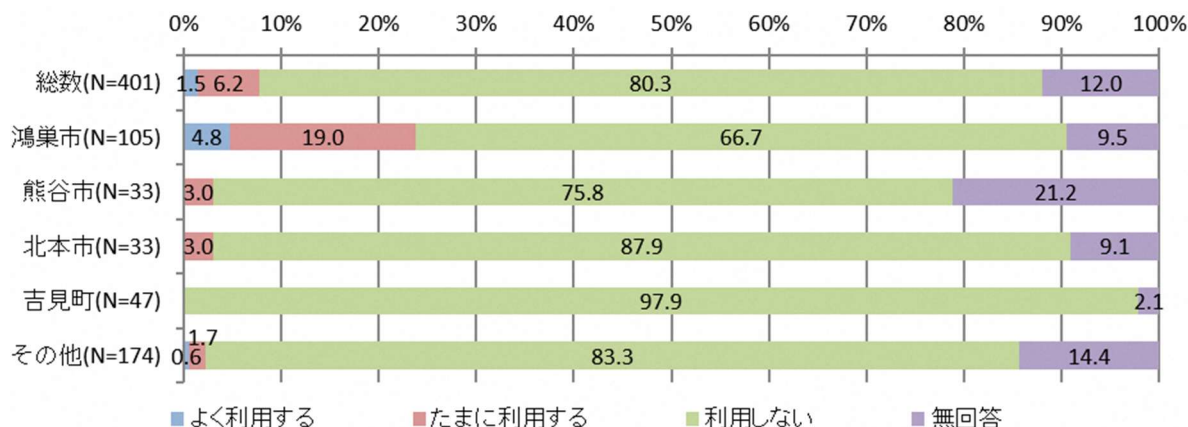
■コミュニティバス「フラワー号」の改善意見



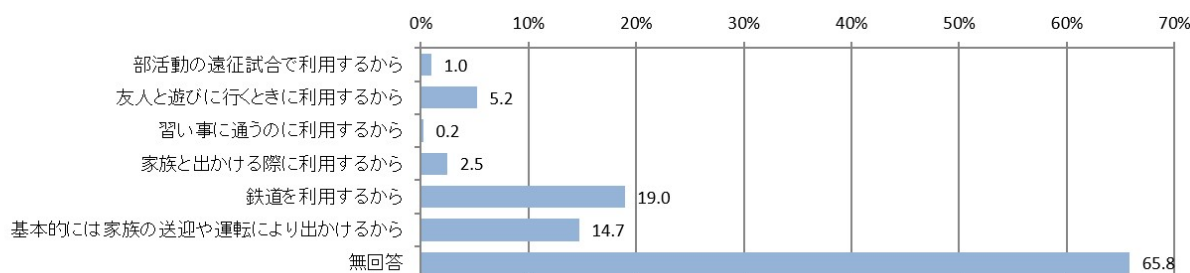
③通学以外のコミュニティバス「フラワー号」の利用について

- 通学以外でのコミュニティバス「フラワー号」の利用について約 8 割の方が利用しないと回答しており、鴻巣市在住者については利用の頻度が高くなっている。
- 理由としても「鉄道を利用するから」の回答が 19.0%と最も多く、広域で移動をしている。
- サービス改善後の利用意向についても半数近くが利用しないと回答しているものの、鴻巣市在住者では「時刻や運賃が適切ならば利用する」も含め約 3 割の利用意向が示された。

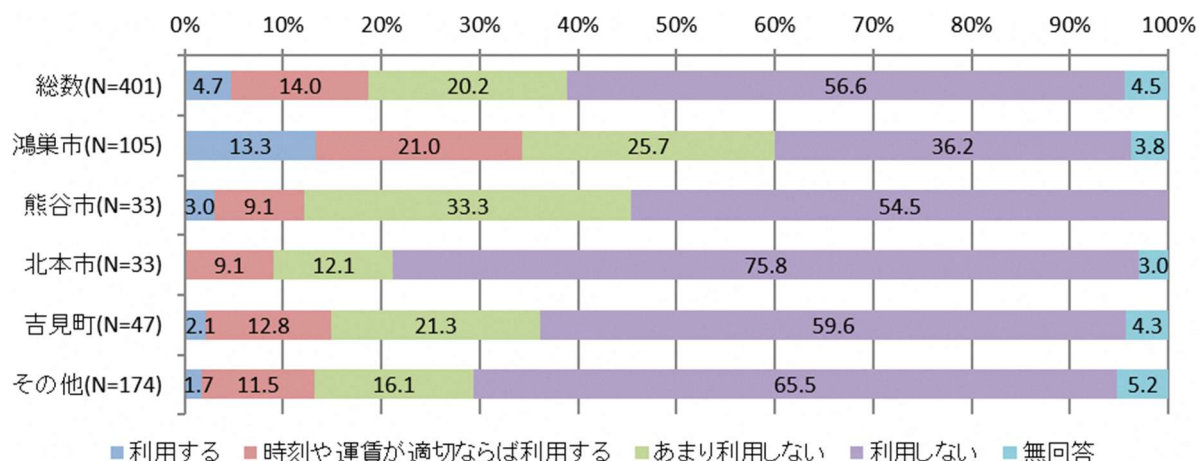
■通学以外でコミュニティバス「フラワー号」を利用するか



■その理由



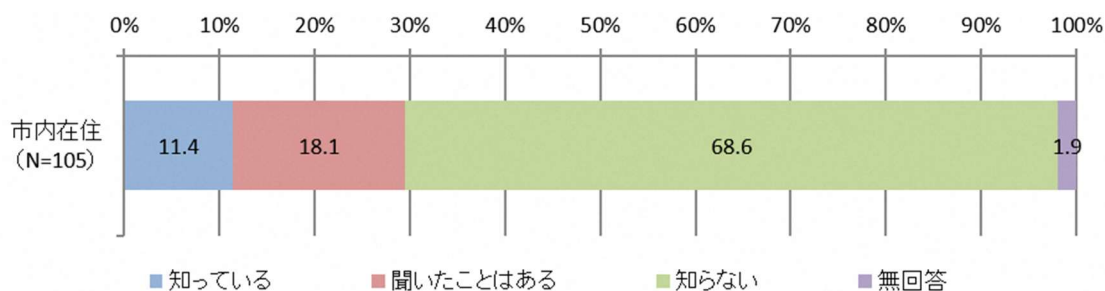
■サービス改善後の利用意向



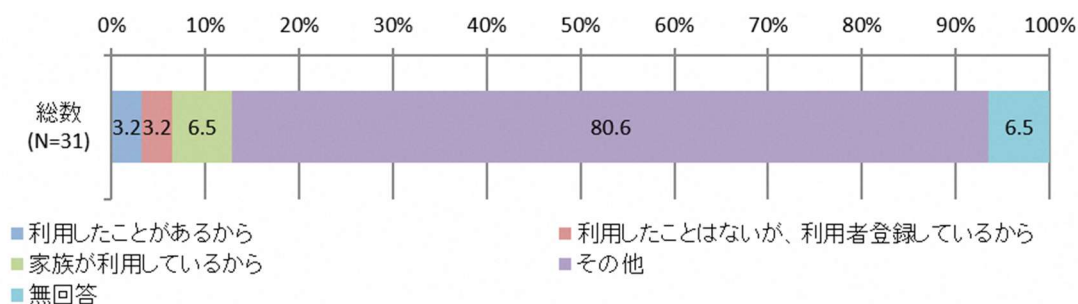
④このす乗合タクシーについて

- このす乗合タクシーについて認知度は「聞いたことはある」も含めて約3割となっている。
- 知っている理由としては「利用・利用登録・家族の利用」などが約1割である。その他の理由として「見たことがある」「ポスターがあるから」が挙げられている。
- 今後の利用意向としては「現時点では利用登録も利用も予定していない」が75.2%と最も多く、「利用したい・まずは利用登録をしたい」の回答は1割未満となっている。

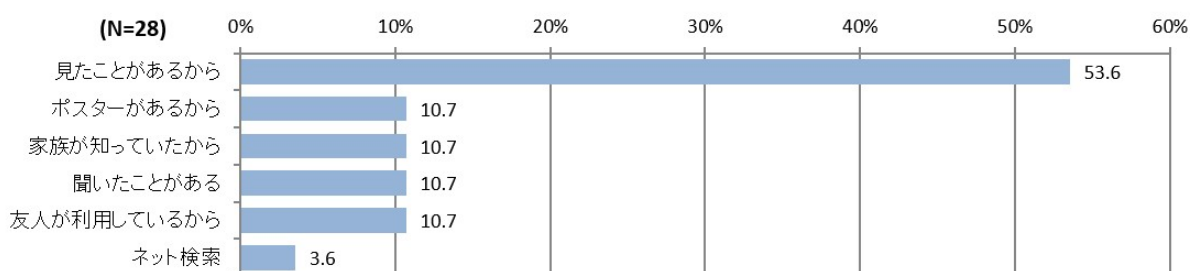
■このす乗合タクシーの認知度（市内在住者対象）



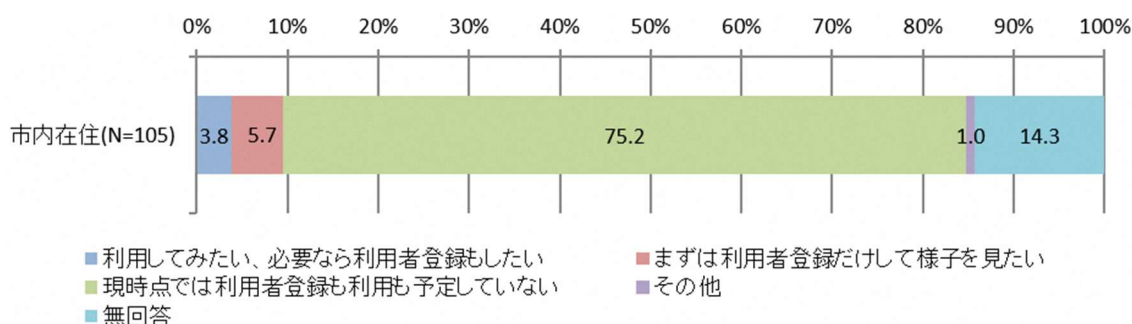
■このす乗合タクシーを知っている・聞いたことがある理由



■その他



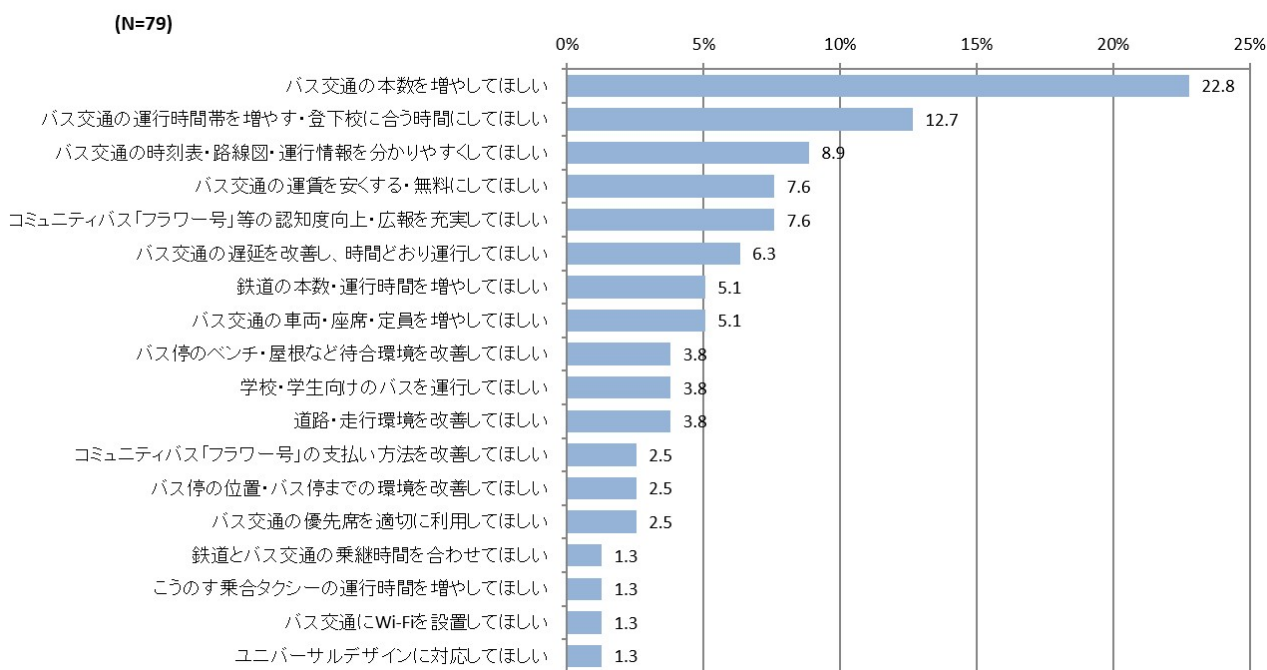
■今後の利用意向



⑤公共交通に関する意見について

○鴻巣市の公共交通に対する意見としては、「バス交通の運行本数を増やしてほしい」の意見が22.8%で最も多く、次いで「バス交通の運行時間帯の拡充」、「運行情報の分かりやすくしてほしい」となっている。

■公共交通に関する意見



※バス交通：民間路線バスおよびコミュニティバス「フラワー号」を指します